

参考

・砺波市役所

<https://www.city.tonami.lg.jp/kanko/event/511p/>



伝統 砺波の夜高行燈

夜高の歴史

魅力・迫力まで

見どころたくさん！



もくじ

1. 夜高行燈のこと
2. 見どころ・魅力
3. 迫力
4. 歴史・由来
5. 参考 (QRコード入)

夜高行燈のこと

夜高行燈のサイズ

みなさん、夜高行燈は、どのくらいの大きさだと思いますか？サイズは、高さ約6メートル、奥行きが約9～12メートルで、ティラノサウルスと同じくらいの大きさです。ただし、これは大行燈のサイズです。



制作工程

1.骨組み

竹と木を使い、激突に耐える強固な骨格を作ります。

2.下絵書き

和紙に武者や龍を描く、絵師の腕の見せどころです！

3.口ウ引き

輪郭を口ウでなぞります。これが色の混ざりを防ぎます。

4.色付け

鮮やかな染料で塗ります。

繊細なグラデーションが魅力です。

5.山組み

完成したパーツを巨大な台車にドッキングします。



見どころ・魅力



夜高の見どころは、高さ5～6mにもなる巨大な夜高行燈の迫力と突き合わせです。

初日の行燈コンクールで美しさを競い合い、2日目の行燈同士がぶつかり合う「突き合わせ」では、地域の一体感が増すことや、農作物が豊かに実り、収穫が多くなることを願います。

2024年夜高行燈 コンクール

審査会場・大行燈記列表



小行燈の部 19:45～	大行燈の部 20:05～
① 広上町	① 東町 ② 銅島 ③ 西町 ④ 南町
② 太郎丸	⑤ 新富町 ⑥ 深江 ⑦ 新栄町 ⑧ 鹿島
	⑨ 神島 ⑩ 桜木町 ⑪ 木舟町 ⑫ 三島町
	⑬ 新町 ⑭ 広上町 ⑮ 太郎丸 ⑯ 春日町



夜高の「ヨイヤサー！」という、威勢の良い掛け声と響き渡る太鼓や拍子木の音が祭りを最高潮に盛り上げます。

迫力

となみ夜高まつりのメインである「突き合わせ」では、行燈同士、猛スピードで真正面からぶつかり合い、参加者たちの「ヨイヤサー、ヨイヤサー！」の掛け声が更に迫力を増します。

となみ夜高まつりでの、ぶつかり合い、煽り合い、押し合う様子は、喧嘩と見られるほど激しく、そのダイナミックな動きと音、そして参加者たちの熱気が一体となって観客に圧倒的な迫力を増します。

色鮮やかで豪華な行燈がぶつかり合いをするところが、とても注目できるポイントです。



歴史・由来

となみ夜高まつりは、古くから始まっていることを知っていますか。夜高は、江戸時代中期に南砺市福野町で神事として行われました。それが砺波市に伝わり、大正時代に「となみ夜高まつり」として始まりました。となみ夜高まつりは、「豊年満作」と「五穀豊穰」を願って行われています。戦中や戦後に一時期中断することもありましたが、地域の人々のおかげで、100年以上にわたり、大切に守り続けられました。

